

〔最優秀賞〕

◇ 家庭の中から平等に

◇

葛生南小学校 5年 石井 嶺花

男性も女性も、平等な世界。どちらが上とか下とか、そんな考えのない世界。それが、「男女平等」な世界だと思います。社会の中でも、家庭の中でも、今は男女平等と言われていますが、実際に平等であると心から感じている人はどのくらいいるのでしょうか。昔は、「男性はこうあるべき」「女性はこうあるべき」という考えが強く根付いていました。男女平等とさげばれている今の世の中でも、その考えが残ってしまっていると思います。男性も女性も同じ人間であって、同じ今を生きているのに。

わたしの父と母は、二人とも仕事をしています。父は朝早く、わたしが起きる前に仕事に行きます。帰りは早い日があったり、遅い日があったりします。母の方が早く帰ってきますが、家事をしたり、弟たちの面倒を見たりととてもいそがしいです。父は、仕事から帰ってきて母が一人でいそがしそうにしているのを見ると、進んで家事を手伝ったり、弟たちの子守りをしたりしています。昔は、どんなにつかかれていてもいそがしくても、家のことは女性の役わりでした。それが当たり前とされていたそうです。それは決めつけだと思し、女性の考えがそんな重されない悲しい社会だと思います。でもわたしの家ではちがいます。二人で仕事もするし、家事や育児もしています。

母は、父に「手伝ってほしい」となかなか言えなかったそうです。なぜなら、家のことは女性がやらなければならないと思っていた

からだそうです。でも、父が進んで家事や育児をするので、少しずつ母は「手伝って」と言えるようになったそうです。協力し合えるかん境やおたがいを思い合える気持ちが一番大切だと、父や母のすがたを見て思いました。

男性が家事や育児をすることが自然なことになり、女性ももっと社会に出て仕事をするようになる。男性だからこうするべき。女性だからこれはだめ。そんな決めつけがない世の中になり、もっともっと、「男女平等」という考えが広まって、決めつけや差別がなくなればいいと思います。

昔の考えは昔の考え。昔の当たり前は昔の当たり前。今の世の中の考え方、今の世の中の当たり前とは何なのか、それをしっかり考えていくべきだと思います。その考え方は、みんなが幸せになるのかな、だれかが悲しい思いをしないかな、と思います。男性も女性も、相手の立場に立って考えて、思いやりの気持ちをもつことができると、みんなが幸せになれるのではないかと思います。

子どもであるわたしたちも、わたしの父や母のように、おたがいのことを思いやって協力し合い、助け合うことができればいいなと思います。「男女平等」で、相手を思いやるやさしさにあふれる、みんなが幸せになる世界を目指して。